

2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月10日

東・札

上場会社名 北雄ラッキー株式会社 上場取引所
 コード番号 2747 URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 桐生 宇優
 問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 高橋 徹（TEL）011-558-7000
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第1四半期の業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第1四半期	9,039	1.5	△36	—	△43	—	△43	—
2025年2月期第1四半期	8,903	△3.3	49	5.0	13	△75.1	39	24.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年2月期第1四半期	△34.52		—					
2025年2月期第1四半期	30.99		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年2月期第1四半期	17,453	5,627	32.2	4,452.21
2025年2月期	18,175	5,715	31.4	4,522.15

（参考）自己資本 2026年2月期第1四半期 5,627百万円 2025年2月期 5,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2026年2月期	—				
2026年2月期（予想）		0.00	—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	18,800	3.6	196	561.2	182	—	120	523.1	94.94
通期	37,900	2.7	427	75.7	400	95.1	250	75.5	197.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	1,264,640株	2025年2月期	1,264,640株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	725株	2025年2月期	725株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	1,263,915株	2025年2月期1Q	1,263,915株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第1四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2025年3月1日～2025年5月31日)におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド需要の増加により、景気は緩やかな回復基調となった一方で、エネルギー価格、原材料費の高騰及び為替変動による景気への影響、さらに米国による関税政策や金融市場下振れ懸念の影響もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、業種、業態を超えた厳しい競争に加え、長引く物価高によるお客様の節約志向や買い控え傾向の一層の強まりの他、原材料価格や諸経費の高止まりにより、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社は2024年2月期から2026年2月期までの中期3ヵ年経営計画を踏まえ、以下の項目に重点を置いて営業活動を行いました。

- ①差別化戦略としての6MD商品の強化(6MD商品政策の推進)
- ②来店頻度向上を目的とする販売力の強化
- ③マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性の向上
- ⑥財務体質の強化

①の商品政策面では、6つの商品政策の柱(6MD)のうち、特に「テイスティラッキー」(高品質商品)、「ナチュラルラッキー」(オーガニック食材など)の二つに重点を置いております。これにより、お客様に品質の差を訴求し、競合他社との優位性を築いてまいります。

②③につきましては、従来のチラシ販促に加え、店頭におけるメニュー提案動画の配信やSNSを使った情報発信を組み合わせることによって、ストアロイヤリティの向上を目指します。お客様の利便性向上の一つの目安である、キャッシュレス決済比率は2025年5月末で68.0%となり、前年同月末の65.1%から2.9%改善いたしました。ファミリー顧客層の深耕につきましては、フードコーディネーター部を中心とする新商品開発や、順次実施している店舗改装において、手に取りやすく、買いやすい店舗づくりを行うなどの点に注力しております。また、前事業年度より、お客様のお支払い時の利便性を高めること、若年層及びファミリー顧客層の新規獲得などを目的として、dポイントを導入し新たな顧客層の獲得を図っております。

④のラッキー生鮮・デリカセンターは2021年の稼働開始以来順次稼働率を上げ、商品製造を機械化集中することでコスト削減を実現しております。

⑤につきましては、業務推進室によるオペレーション効率の分析を通じて、商品の自動発注をはじめとした様々な業務の自動化及び労働時間の最適化に取り組んでおります。また、前事業年度から開始した全店へのセミセルフ/フルセルフレジの導入及びキャッシュレス決済端末の入れ替えが完了し、この設備更新により、待ち時間の短縮及び人件費の最適化に寄与しております。

⑥につきましては、前記の中期経営計画を実行することで収益力強化と自己資本比率向上等、財務体質の改善に努めました。

当第1四半期累計期間の売上高は90億39百万円、前期比101.5%、1億35百万円の増加となり、営業総利益は25億22百万円と前期比14百万円の減少となり、営業総利益率は27.9%と前期に対して0.6ポイント減少いたしました。販売費及び一般管理費は賞与引当金繰入額が19百万円減少、退職給付費用が8百万円減少いたしました。一方で広告宣伝費が6百万円増加、雑給が18百万円増加、水道光熱費が17百万円増加、減価償却費が13百万円増加、その他35百万円増加いたしました。合計では、25億58百万円と前期比71百万円増加いたしました。期間の経営成績は、売上高は90億39百万円(前期比101.5%)、経常損失は43百万円(前年同期は経常利益13百万円)、四半期純損失は43百万円(前年同期は四半期純利益39百万円)となりました。

当第1四半期累計期間における設備の状況につきましては、店舗の開店及び閉店は無く、2025年5月31日現在の店舗数は、33店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して7億21百万円減少し174億53百万円であります。

その主な要因は、商品及び製品が48百万円増加したものの、現金及び預金が7億82百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期累計期間における負債合計は、前事業年度末と比較して6億33百万円減少し118億26百万円であります。

その主な要因は、買掛金が8億12百万円増加、未払消費税等が97百万円増加、預り金が1億57百万円増加したものの短期借入金が17億円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期累計期間における純資産合計は、前事業年度末と比較して88百万円減少し56億27百万円であります。

その主な要因は、その他有価証券評価差額金が18百万円増加したものの、繰越利益剰余金が1億6百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月11日の「2025年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2025年5月31日)
(単位：千円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,637,920	855,011
売掛金	1,044,285	1,206,439
商品及び製品	1,770,992	1,819,379
原材料及び貯蔵品	67,269	67,753
前払費用	87,596	103,017
未収入金	453,826	351,216
未収消費税等	18,676	18,676
未収還付法人税等	25,580	15,537
その他	5,153	6,055
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	5,111,033	4,442,818
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,077,411	12,093,995
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,926,355	△7,998,639
建物（純額）	4,151,056	4,095,356
構築物	812,482	812,482
減価償却累計額及び減損損失累計額	△663,975	△668,704
構築物（純額）	148,506	143,777
機械及び装置	3,897	3,897
減価償却累計額	△1,454	△1,595
機械及び装置（純額）	2,443	2,302
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,522	△7,522
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	447,154	449,532
減価償却累計額及び減損損失累計額	△422,368	△426,091
工具、器具及び備品（純額）	24,785	23,440
土地	6,066,247	6,066,247
リース資産	1,396,488	1,440,320
減価償却累計額及び減損損失累計額	△559,802	△608,288
リース資産（純額）	836,685	832,032
建設仮勘定	9,185	10,505
有形固定資産合計	11,238,909	11,173,661
無形固定資産		
ソフトウェア	39,232	35,603
のれん	14,755	13,920
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	72,216	67,752
投資その他の資産		
投資有価証券	280,686	295,160
出資金	479	479
長期前払費用	41,023	40,291
繰延税金資産	349,696	357,854
長期預金	100,000	100,000
差入保証金	981,505	975,976
投資その他の資産合計	1,753,391	1,769,761
固定資産合計	13,064,518	13,011,174
資産合計	18,175,551	17,453,993

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,327,665	3,139,874
短期借入金	1,950,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	469,835	478,314
リース債務	292,540	300,270
未払金	398,535	326,880
未払費用	287,865	404,492
未払法人税等	31,648	16,887
未払消費税等	—	97,291
前受金	15,822	16,686
預り金	634,238	791,547
賞与引当金	81,352	162,508
流動負債合計	6,489,503	5,984,752
固定負債		
長期借入金	4,090,181	3,969,031
リース債務	711,133	690,681
退職給付引当金	821,186	821,309
長期預り保証金	244,694	242,697
資産除去債務	81,591	96,654
長期末払金	21,650	21,650
固定負債合計	5,970,436	5,842,024
負債合計	12,459,940	11,826,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	2,157,903	2,051,083
利益剰余金合計	4,622,903	4,516,083
自己株式	△2,054	△2,054
株主資本合計	5,613,872	5,507,052
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	101,738	120,164
評価・換算差額等合計	101,738	120,164
純資産合計	5,715,610	5,627,216
負債純資産合計	18,175,551	17,453,993

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	8,903,859	9,039,518
売上原価	6,428,387	6,579,458
売上総利益	2,475,471	2,460,060
営業収入		
不動産賃貸収入	61,515	62,548
営業収入合計	61,515	62,548
営業総利益	2,536,986	2,522,608
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	75,111	81,180
配送費	209,241	212,606
販売手数料	35,627	38,404
給料及び手当	435,110	434,622
賞与引当金繰入額	100,652	81,155
退職給付費用	24,503	16,365
雑給	585,611	604,605
水道光熱費	242,579	260,387
減価償却費	134,059	147,722
地代家賃	163,943	164,837
その他	481,199	516,999
販売費及び一般管理費合計	2,487,639	2,558,887
営業利益又は営業損失(△)	49,346	△36,279
営業外収益		
受取利息	1,041	1,222
受取配当金	4,734	5,181
受取事務手数料	1,347	1,347
雑収入	5,195	4,313
営業外収益合計	12,318	12,064
営業外費用		
支払利息	7,016	16,698
雑損失	807	2,785
シンジケートローン手数料	40,289	151
営業外費用合計	48,113	19,634
経常利益又は経常損失(△)	13,551	△43,849
特別利益		
受取補償金	61,200	—
特別利益合計	61,200	—
特別損失		
減損損失	7,086	1,453
固定資産除売却損	13,522	7,633
特別損失合計	20,608	9,086
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	54,143	△52,936
法人税、住民税及び事業税	24,419	6,893
法人税等調整額	△9,447	△16,206
法人税等合計	14,972	△9,312
四半期純利益又は四半期純損失(△)	39,170	△43,624

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)及び当第1四半期累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

当社は、生鮮食料品を中心に一般食料品及びファミリー衣料品を販売の主体とするスーパーマーケット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	134,059千円	146,887千円
のれんの償却額	—	835
合計	134,059	147,722